



## 今年も よろしくお願ひします

2012年の幕が開きました。昨年は予期せぬ大震災と津波、原発事故が東日本を襲い、人々は放射能汚染の大きな恐怖にさらされました。死者・不明者は合わせて2万人近くに上り、いまだ多数の方が仮設住宅で生活しています。当たり前の暮らしがいかに大切か、大震災は人々の人生観や価値観を変えました。平成23年の世相を表した漢字は『絆』でしたが、「人と人とのつながり」の大切さについて改めて考えさせられました。

今年の干支は、「辰」ですが、辰というのは、本来「振」（ふるう、ととのう）の意味で、後に神話上の動物「竜（龍）」が割り当てられたそうです。「卯（うさぎ）」の次ですから勇ましさはひとときです。中国では古くから「立派な人、勇気ある人」などのたとえとして用いられてきたそうです。名前によく使われるのは、その由来からでしょう。

また、中国の黄河の上流に禹門口という地名がありますが、以前は龍門と言いました。黄河の水はここで大きな落差を付け、すさまじい音を立てて流れ落ちて滝となります。この滝を登り切った鯉は神通力を得て、龍に変わるという伝説があり、鯉の滝登りは立身出世のたとえにされています。これにならって現れたのが日本の「こいのぼり」であり、中国の「望子成龍」ということわざです。いずれも、我が子に託す親の期待が込められています。

昨年の11月8日に、被災地である福島県相馬市を訪問されたブータン王国のワンチェク国王が、「龍」をキーワードに、現地の小学生に次のように語りかけました。

みなさんは、龍をみたことがありますか。  
私はあります。  
みなさんの中には、“人格”という龍がいます。  
年をとって経験を積むほど、龍は大きく強くなるのです。  
みなさん、自分の中の龍を見つけてください。



- 「一人一人の中に龍はいます。」「龍は経験を餌に成長していきます。」「皆さんの経験を大事に強く育ててください。」と、話しかけたブータン国王の言葉に、心が強く動かされました。
- 本気で龍を探してみようかなという気に、初めてなりました。
- 等々の感想が寄せられました。優しい言葉で聞き手の心を揺り動かす素敵なお話です。「言葉の力」に勇気づけられますね。

今年、本校が、子どもたちの豊かな『経験』の場となり、子どもたちがそれぞれの龍を大きく育てることができますように、職員一同、力を尽くして参ります。今年もよろしくお願いします。

## 学校名の看板設置・図書の実

本年度、古屋教育助成財団に助成事業として「看板の設置」と「読書活動のための図書の充実」を申請しましたところ、総額約47万円を助成していただき写真のような看板と本を購入しました。『財団法人 古屋教育助成財団』は、次のような目的で平成6年12月21日に設立されました。

### ＜目的＞

古屋教育助成財団は、山梨県における教育の充実と発展のための研究に対する助成等を行うことにより、山梨県における公共の福祉の増進に寄与し、もって国民経済の発展と国際社会におけるわが国の発展を図ることを目的とする。



上記のような看板に、お気づきになりましたか。国道からよく見えるように、900×1800の大きな看板を設置しました。本校への転入学児童が増えること、そして、災害時等にも本校の所在地がはっきりわかるようにという目的で、国道から80mという標示もいたしました。

学校名の下イラストは、東京在住のイラストレーター—瀬浩二氏（一瀬純司教頭の御息女）にお願いしました。本校のシンボルである元気な子どもたち、桜の木、校舎を描いていただきました。かわいい看板を見ようと、立ち止まって眺めている方もいます。



本校の蔵書冊数は、児童数の減少により基準冊数は達成していますが、蔵書内容としましては古いものが多く、廃棄、購入等入れ替えが必要でした。図書購入費は小規模校としては多く予算化されていますが、百科事典や図鑑といった高額の本を購入することができない状況でしたので、助成金で次の本を購入しました。

☆小学館世界名作おはなし絵本24冊

☆にじいろのさかな

☆にこにこえほん

☆百科事典

☆図鑑







# スキー教室



1月20日（金）に長野県富士見高原スキー場においてスキー教室を実施しました。  
 スキー教室の目的は、  
 ○冬の代表的なスポーツであるスキーに親しむ機会とする  
 ○スキーの基本的な知識と技術を習得する  
 の2点ですが、頭書の目的を全員が達成しました。

**全員で記念写真  
雪景色に大喜びです**



**昼食のカレーはおいしかったね！**



＜ホームページの中部小日記より＞

富士見高原スキー場での全校スキー教室でした。タベからの雪で、学校でも雪が少し積もっていましたが、スキー場に近づくにしたがって、積雪が多くなっていました。

ゲレンデは新雪でアイスバーンもなく、上々のコンディションでした。4・5・6年生は、1年生のときから滑っているので、みんなすぐに慣れて“板に乗った”滑りをしていました。

1年生は、生まれて初めてのスキー！！ 熊谷先生にマンツーマンで教わっていました。午前中いっぱい午後少しは熊谷先生の“人間リフト”で斜面を滑ったりしていましたが、ついに、リフトに乗り（全部で5回も乗りました）、長～い斜面をほとんど転ばずに、人をよけながらすべることができました！！

リフトの係員さんたちがとても親切に対応してくれました。

リフト1回目は「降りるのが怖いからリフトを止めてあげるからね」

2回目は「あ、また1年生が来たね、気をつけて見てるよ」

3回目は「先生より上手だぞ～」でした(^O^)

総じて、少ない人数というのは何かを習おうというときには上達がすごいものだ～と改めて思いました。



## 年賀状抽選会



→ダブルダッチに挑戦  
←校内書き初め大会



**卒業制作“雨畑すずい作り”  
講師は雨宮正廣氏です。**



## 茶道体験教室 PART 2



1月14日（火）に2回目の茶道教室を行いました。講師の先生は、前回も御指導いただいた深澤一正先生、志村貴美子先生です。

お茶を実際に茶せんで点てる体験に、子どもたちは大いに喜びました。夢中で点てていますが、表情が素敵でしょう。上の写真からもおわかりのように、礼儀作法を習得し、正座も苦痛ではなかったようです。

「初釜なので宮中でいただく花びら餅を子どもたちに味わわせたい」と講師の先生がおっしゃって、高級な和菓子を準備してくださいました。とてもおいしかったです。ありがとうございました。

